



## 校長室の窓から

校長 飯塚博文

※「校長室から」感じたこと等を不定期で発信していきます。

270 3月18日(火)

卒業授与式が行われました。鎌ヶ谷市教育委員会教育長をはじめ、数年ぶりに地域の方々にも参加していただき、卒業を祝っていただきました。5年生も在校生代表として、立派な姿を見せました。その結果、とても温かい卒業式になりました。証書授与の際の卒業生の笑顔に、今後の活躍が大いに期待されます。卒業、おめでとうございます。

269 3月17日(月)

いよいよ卒業式前日となりました。5年生ががんばり、会場も整いました。また、PTAの方々もかけつけ、体育館の上部に素敵な装飾がほどこされました。明日の舞台はこうして、多くの方々の協力のもと、設営されました。あとは、主役を待つだけです。6年生から、〇〇〇になる日。

268 3月14日(金)

何人かの6年生が、真新しい卒業アルバムを片手に校長室にやってきました。アルバム内にサインや寄せ書きがかけるスペースがあり、「サインしてください」とのことでした。6年生のその表情はとてもよく、後2日で卒業するとは微塵にも感じさせませんでした。それだけに、寂しさが一層募る週末でした、

267 3月13日(木)

卒業式の予行練習が行われました。卒業証書を渡す場面では、6年生一人一人と対面する場面があります。練習とはいえ、緊張の面持ちの子、真剣な表情な子、恥ずかしがっている子、しっかりしたまなざしを注ぐ子など様々でした。頼もしい6年生が、立派な卒業生に変わる日までの時間ま

で、あとわずかです。一足先に、中学校では卒業式が行われた暖かな1日でした。

266 3月12日（水）

今年度、最後のPTA役員会、運営委員会が行われました。その中で、安全委員の方より「子どもたちの多くはしっかり自分たちで気をつけられ安全に登校できる力がついてきている」との内容を伝えられました。とても嬉しかったです。もちろん、まだまだ走って登下校する子など、危険な行動に対しての指導は引き続き必要な状況です。学校と地域、そして保護者が継続的に粘り強く話しかけることが、大きな事故を防ぎ、安全な登下校の輪を広げる近道だと考えます。今後とも、よろしくお願いします。学校+αの力が必要です。

265 3月11日（火）

2011年3月11日14時46分頃、東日本大震災が発生しました。当時、道野辺小学校に勤務しており、子どもたちとともにこの地震に遭遇しました。その時の状況は、14年経った今でも鮮明に覚えています。今日の鎌ヶ谷小学校の児童が生まれる前のできごとです。地震は、いつ、どこで起こるかわかりません。地震への備えを確認しましょう。

改めまして、亡くなられた方々に深く哀悼の意を表するとともに、ご遺族の方々に心よりお悔やみを申し上げます。そして、被災をされた方々に心よりお見舞いを申し上げます。

264 3月10日（月）

「令和7年度の行事及び日課について」スクリレにて配信しました。特に、5月に実施してきた運動会の時期の変更については、慎重に検討してまいりました。過去5年間の運動会実施週の平均気温、練習期間中や当日の児童の熱中症罹患や保護者を含めた熱中症による救急搬送の状況、各学年の児童の実態他など複数の状況を鑑みて、実施時期の変更に至りました。持久走大会についても、これまで実施してきた成果を踏まえつつ、代替実施時期、持続的な運動を行う留意点、コロナ禍5年間の影響、児童の心身の状況、過去に起こった事故等を総合的に考えて判断しました。

263 3月7日（金）

サルを目撃情報が市教委より提供されました。目撃場所が、鎌ヶ谷カントリークラブ付近、鎌ヶ谷市役所近隣飲食店付近ということでした。学区内であり、児童への注意喚起、保護者への情報提供、下校時に職員による

パトロールを行います。また、野外での活動についても十分に注意し対応するよう、注意喚起を行います。

262 3月6日（木）

本日付、千葉日報の1面に「依然深刻、長時間労働も」の見出しが躍りました。千葉県政の課題の一つである「教員不足」について。「ブラック労働」といわれる教員の担い手不足が深刻化する中、人材確保や負担軽減が課題となっています。「夢を持って教員になったのに、多すぎる仕事に忙殺され、辞めるという悪循環に陥っている」と記事が続きます。本校でも、「授業など子どもに向き合う時間の確保」のため、できることを模索していきます。健康な教員によって、健やかな子どもを育むために。

261 3月5日（水）

朝、安全指導を行っていると、登校中の児童から「校長先生、この寒さ、なんとかしてください。寒すぎます！」とお願いされました。心配された雪の影響はなかったものの冷たい風が身にしみる朝でした。今日は、土の中で縮こまっていた虫(蟄)が穴を開いて(啓いて)動き出す日「啓蟄」ですが、近くまで来ていた春は一旦立ち止まっているようです。

260 3月4日（火）

本日、朝刊「千葉日報」に本校の研究内容が紹介されました。本年度から2カ年計画で、「NIE（教育に新聞を（Newspaper in Education）」の頭文字をとった呼び名）教育の研究に取り組んでいます。NIE報告～県内実践校の取組として、掲載されました。本年度は「テーマを決めて、新聞に慣れ親しむ」ことをゴールに設定し、各学年で実践しています。こうして新聞に取り上げられることに、子どもたちと一緒に喜ぶとともに、感謝します。

259 3月3日（月）

3月3日のひな祭りは、女の子の幸せと健やかな成長を願ってお祝いする日です。雛人形は、昔の人形（ひとがた）や流し雛の風習の通り、お雛様に女の子の穢れを移して厄災を身代わりに引き受けてもらうためだとも言われています。そんな子どもに災いが降りかからないようにという家族の願いや、人生の幸福が得られるようにという気持ちを込めて、雛人形を飾るようになりました。今宵は、ひなあられ、ひし餅をそろえ、顔を赤く染めた右大臣のごとく、お祝いを。ちらし寿司に、はまぐりのお吸

い物も忘れずに。

258 3月2日（日）

東京マラソンが行われました。日頃、走る事ができない東京の各景勝地をめぐるコースは、市民ランナーにとっても憧れの大会です。今年も沿道には多くの方々が駆けつけました。途切れることのない応援もまた、本大会の魅力です。まさに、東京が1つになる日。ランナーとしても、応援者としても、魅力のある1日です。ゴールした瞬間の感激は、順位よりも、記録をも超える、何よりも代えがたい「人生の宝物」として、いつまでも残ります。

257 3月1日（土）

いよいよ3月に入りました。「ありがとうの会」の心地よい余韻が残る中、年度末に向けてのラストスパートの時期となります。締めくくりの時期であると同時に、進級、進学に向けての助走期間でもあります。この1年間の成就感、達成感を大切にしながら、新年度への期待を膨らませられるよう、この1ヶ月、有意義に過ごしていきたいものです。